

公私目六集

一 神前御太刀目六之事

一 禁裏仙洞御太刀目六之事

附御之字之事

一 從禁中御太刀目六之事

一 公家元之太刀目六之事

一 獻上太刀目六之事

禁裏備白皇太子公方御

附上飛長銘事

一 同現馬之定式之事

一 當時獻上太刀目六之事

一 同知事之元右刀目六之事

一 同隱居之元右刀目六之事

附法下法眼御醫所出因明之事

一 同別種活出時之事

附帷子出單物出給出之事

一 同御小袖出活出時之事

一 敷多活出時之事

一 現馬計進上目之事

一 神前儀諸家獻御太刀目之事

一 御買出之事

一 常之佛前之事

一 家之口人進上之事

附祖父及師通書交并金銀赤銅

此書館之事

一 貴人進上之事

一 同

一 同輩進上時之事

附行敬之事

一 下輩進上之事

一 下輩進上之事

附名書之事

一 公儀及諸家之家老之事

一 同

一 増上寺方丈之事

一 御香奠目之事

一 同女中より乃之事

附亡者之冥前之目録

一 同此紙より一頁

一 折紙之事

一 同

一 之人中一折紙之事

附名書紙之事

一 惣司女中一折紙之事

一 堂上流俗書之事

一 京官受領の書之事

一 時服献之品書之事

一 同

一 御小袖一重紙之事

附折紙教之事

一 正月廿六外御重紙献之事

附折紙

一 幼奉紙之返目録

一 御書紙皇居三宮共出御之事

一 中下乃女中女御方之事

附くくく書

一 同一色之目録

一 女中より男に目録の事

一 注文之

一 目六式小入進上之字等之事

一 同二事

一 連名之

事

一 有官出家之日六之

事

附同宿児申

事

一 無官之僧日六之

事

一 禪家長老日六之

事

一 遺物献之日六之

事

一 同御卷林献之

事

一 若君林御誕生之日六之

事

一 同御卷林(乃)

事

一 御産母(至之乃)

事

一 無部法祝之日六之

事

一 御引進上之

事

葛蒲御塊破魔御引進之

附真字小帳名を文とす

一 御祿 以下皆之

加冠

一 御一字

近代御祿号 御一字御折紙之

一 明友上 一字贈支

一 改名之

一 主人上 幼名を申す

一 主人妻上 幼名を申す

一 官名打紙之

一 納米目六之

神前

獻上

雄劔 一振

龍蹄 一匹

以上

伊勢太神宮

東照宮

山王大權現

逆

公方様大納言様

如斯

大高檀紙を扱

上色を乞

御目錄

禁裏仙洞後
公方様大納言様
御料紙因前
上色

御目錄二通

近代真文字書故實
断絶可歎

御 慶長元祿乃因並

能書承小之皆禁書より
近代正字流布しそ中に
改より存右抄小の世下
小書よりP正字感
Pに双古雅也明朝より
董其昌書画同珍御と
書より能書は皆多や
P以下に古雅宋の徽宗の言に
御と書より古風同流
見たり能書は皆多や

以上

御馬 一疋

御太刀 一腰

但只従大納言様真文字と御請に存上の二字
ふんば

御太刀 一腰

御馬 一匹

寶永八三廿五従
禁裏仙洞
公方様大納言様
御料紙大高檀
紙書夜但是云
傳 奏元是為之
御事也
以上ノ二字毎之

御馬代書金 二十兩 一匹

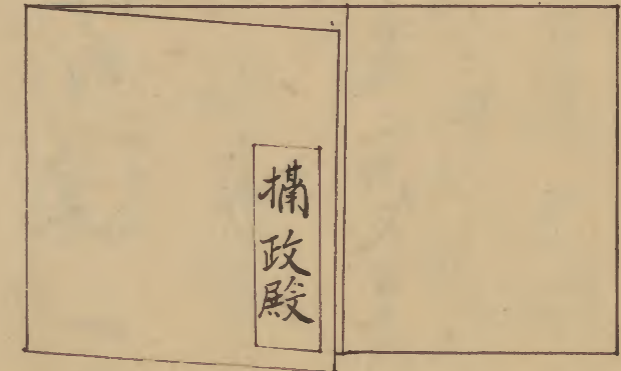
ふんば
禁裏之御太刀御馬
中心也

堂上

御太刀 一腰

御馬 一匹

以上



堂上元関東ノ敵ニ
如ク名を書取付レ
有モアリ是ハ名
付レモイハレ
訛之
及上人小テ也進上
二字テ自托名乗
下上此字あり

奉主君現観現馬

進上

御太刀天國 一腰

御馬黒 一匹

以上

名字宦
名乗

奉主君越也太刀

上此ハ如ク書付也

下付ハ先付モ付上

下書也一腰一匹ハ

下テ可書

長銘モ上テ如ク書

御太刀長銘國後 一腰

如ク書也

黒元ト不書

馬三疋之時二疋モウケル也

進上

御太刀 一腰 十手院

御馬 三匹 栗毛 鶴毛 幕毛

以上

名字官
名乗

是又之君ノ捧之趣也

上化ニテ十キハ如ク
一腰ノ下ニ銘ヲ書也

一腰 志吉

一匹 栗毛

又
二匹 栗毛 黒

當作「太刀馬代」

進上

御太刀 一腰

御馬 代黃金十兩 一匹

以上

名字官
名乗

當時

公方様ノ從諸家ノ
仕振也

大高檀紙四方ツ
テ一カサ子

又父師匠等ノモ

如也

林裏仙洞白天子
御同歩仙洞女帝の時
也

進上	御太刀 一腰	御馬 <small>代黃金兩</small> 一疋	以上	松平元十代
----	--------	---------------------------	----	-------

但宿以前茂吉
 依竹秀丸
 北條久太郎
 喜連川金王丸
 何茂吉氏名宗平
 書之
 又隱居吳軒之面
 井伊全翁
 松平操山
 是も名宗平書之
 無位宗平幼少
 并隱居亦准之

進上	御太刀 一腰	御馬 <small>代銀菽</small> 一疋	以上	松平了閑
----	--------	--------------------------	----	------

落發隱居歟自六
 法下法眼印醫師名
 書振方以之
 以上

法印玄碩
 法眼善甫
 如此事之及少少何事
 書法快其人欣妖怪如之
 無宿醫師
 栗原長庵也也
 但名宗平書之

子祥又宗他院法下院書一和也
 隆安
 廣壽
 隆安
 隆安

進上

御太刀

一腰

綿

百把

御馬

代白銀鞍

一匹

以上

名字官

名乗

何と茂添は肘ハ
太刀ト馬ノ間書ク

御阿彌乃名書ハ

吉田寛阿弥上書名乗不

下書也其外ハ室町殿御

御舎ノ相阿弥屋ノ御共信哉

後丹小相阿弥屋ノ書ク

家トハ吉田寛阿弥近ク

宜也實古法ノ一書小ハ

寛阿ミト宜也是クハ

ト思フヨリア也少ク

如右トシテ又云僧歌ノ

屬クハ大僧公寛言ト

書クハ一ト云也信哉

ノ別大信公寛言ト書クハ

如右トシテハ信哉ノ御

壞紙小底河相阿弥ト云ク

寛言ハ信哉ト非也信哉

ノ別大信公寛言ト書クハ

王カシ道光公證公并皆信哉ト

下也

進上

御太刀

一腰

御小袖

一重

御馬

代白銀鞍

一匹

以上

名字官

名乗

御帷子草物十

帷子草物共二三五十

十ト書ク

小袖ハ一重又ハ二領

ナト書ク

袷モ二三ト書ク

ハトハ草物ト帷子

三ツトモ只五トナ

書也又帷子ト草物

三ツ袷トモ

御帷子御草物御袷十

但堅目ハ之ト書ク

有クハ之ト書ク

進上	御太刀 一腰 <small>白</small>	御弓 一張	御袈裟 一腰	御鎧 一領	御馬 一疋 <small>栗毛印 舊目結 御鞍置</small>	已上	吉見宮内大輔 長盛
----	-------------------------	-------	--------	-------	---	----	--------------

數多乃討いさ

尚付現馬を進上の討い
堅紙白

進上

御馬 一匹一國住聖立
塵毛五歳

以上

拾号官
名乗

一説三才五才ト云齒
しし弄らぬ小おと出
方宜ととく巧者比人
アハ

下丸
オハトオ智オオ字ニアラス
歳者字リニカハ月エハカラス

奉獻上	御太刀 一腰	御馬 一匹	以上	名字官 名乗
-----	--------	-------	----	-----------

伊勢 日光
山王等

從諸侯如斯但
御具庄ト奉
字ヲ除ク計外
同断

料紙太高中ニ高ホ
四方ヲメテ一卫

亡者 其前ハ手向ハ
車ハ 香典目六ノ右
記ニタリ

御具足

献上

御太刀 一腰

御馬 一足

以上

称号官
名乗

上野芝

御具足(大小各一)

又諸家より先

祖の具前ホ(ト)

て仕や

佛前(ト)款迎如来觀世音ホ(ト)事也

献上

大乗妙典 一部

以上

称号官
名乗

常之佛前(ト)

ト

亡者

諸家西ノ主人ノ上ル皆文字ノ末

進上

御太刀

一腰

日光

御馬

一疋

鶴毛

以上

名字宦

名乘

奉ノ尺趣也但

子浪ノ所 持ト云

字書之昔ハ金作ハ

金覆輪 銀作ハ白

赤銅作ハ黒ト書

有在

御旗本ヨリ御老中方

并國ノホハカクニ統レ

但文字真ノ草ニ也

但父父ニモ如此於御通

雖有言ノ不固輩ヨリ

上ノ師ニハ此況陪臣ト

百石者ニテモ御旗本ノ

師ハハ此氏ニ書ルヤ

祖父父ハハ真之真ニ也

從諸侯ハ御三家 攝家 官方ノ氏

進上

御太刀

一腰

御馬

一疋

以上

名字宦

貴人ト云也

御門ノ御三家方

從諸侯也

布衣ノ流トヨリ大

諸侯トハ御旗本

百石以上ハ 御目見

以下ヨリ御旗本ハ

此氏ト云也

<p>なまや友</p>	<p>いん</p>	<p>つた刀一腰</p>
-------------	-----------	--------------

<p>名字官</p>	<p>いん</p>	<p>つた刀 一腰</p>
------------	-----------	---------------

是又貴人の名
 御書中一方は
 従諸大名此
 従御番以元果
 了進上也
 共平八名案
 了之也

未^{四十七}七^七增^文一
連名目古代更
其^之與代同有^之
隨^從太刀目六^一
為^之五^五

	右力 一係 三 一正	一 一
--	---------------	--------

平祥古代下輩一乃目六名書友
を加寸是は其人は外よりわたり物
かす時ハ内も一一大勢少く政令時ハ
名加され取次者納り後清海外
難成する事にして混雜せ極事也名案
やを^之所^一か^{され}る^者を^敬し^る名成
取^り名^書友^ハい^く名^も草^書に^可
書^る也^百一^名友^ハ人^ホ不^取川^其
付^れ書^て後^付也^一平^祥古^代
より^は事^ハ思^ひの^一小^既寛^政四^年

七月十九日

若君様御七夜惣献上ふりは
公方様御共様 若君様 若君様
名^書友^ハ名^書友^ハ西^て書^とれ^ハ直^り

白銀を共目六...
 小いあんの勿論...
 引里乃役人...
 名を書付...
 上古かや...
 とく敬い...
 作...
 局...
 有...
 此類...
 中...
 付...
 あやゆり...
 字に書...

進上

御太刀 一腰

御馬 一疋

以上

本多中務輔家来
 柏伊勢
 澄孝

是公之人家督也
 作付...
 仕長...
 進...
 江戸...
 出勤...
 出入...
 近頃...

名乗

如世書...
 方...

右貴人上ノ用之

御太刀 一腰	御馬 一疋	以上 名字官
-----------	----------	-----------

料第一疋

右同以

進上	御太刀 一腰	綿 百把	御馬 一疋	以上 松平大次郎家来 木多安房守 正長
----	-----------	---------	----------	------------------------------

名字官	以上	御馬 一疋	御方刀 一腰
-----	----	----------	-----------

増上寺方丈に從
諸大名及此界
之寺院以之可有
分別
佛に捧りと住持に
送ると業者之
考りあり
神前に捧りと神
之に送ると是又て
考之
年始り佛前等
小におよある仏前の
法に書香典あり
各別や

右等軍に由

名字友	馬 一疋	御方刀 一腰
-----	---------	-----------

因前

杯佐渡書

御香奠 白銀二枚

御香奠目録是ハ
佛前ニ香を焚けり
共料ニ納りし也元々
進上書
御法事之儀上野中堂
増上寺本堂杯加賀書
一三石石以て下流
役人納付申上是御付
札ありし
料紙一枚
宝永三年之儀札上野
く尼の爲に御法事ハ
奉書之儀を御付
切て法付也
女中乃御法事申上
男よりハかた
ふりしハ石書之

湯右刀 一腰

湯馬 一匹

以上

名字官

同輩ト如世ニ
昔之同輩ハ
湯右刀 一腰
馬 一匹
此等之儀共由世
ハ
館林君より御家
かへりし書付散
ありし也

下巻へ之は也

江古刀 一標

江古 一丈



名安友

女中よりかゝのじし
り二品の時ありは
しとあり白鳥一尺
勿論へ

又云七者乃其布へ白
いはは方れ官位より七者
乃現在の友位を考て行草
心はほしし可書也佛あり
とありへへは佛法の孔は
日本はありし墓誌銘を
減乃式は

五脚

故伊豆正位藤原朝春行御墓

地下

故伊豆正位藤原朝春行墓

無名

藤原春行墓

女ふれは官位はあり
一書や

湯かえん 白の杯をい

此かとりぬ女や
は二品豊なりゆく
て成るまじとも脱久安
書來れは吏は海は早

志百景 一くろん

五百いさ ぬかうらん

い

けいほわん

折紙と申すは是也

進上

百貫

以上

名字官
名乗

主人に書り折紙也
只ありるえと申すは
是也毎歳正月に
祝儀樂へ入る
御折紙は次へ記之
名乗を除き上輩
魚も進上を除き
少へも行草にて可
分く
是のて数付なきは
進上より下地書る也

五百足

大吏三人脇式人
五百足は千布一
武百足は千布一
是室町大樹代
より杉紙の巻
かたを二目と
心持も百人
可歎

志人上

万正き

い上

ま川下
のき
う長

主人乃女中(か)此
けい
御堂様(乃)紙(紙)

童時
さ竹ひて丸
まの平中と世

落髪
をが京志人先
か(碇)舟(舟)閑
かくはま

は振(書)て(安)ま
坂(子)と(流)の(き)也
ま川下
のき
う長

	三百ひき	
--	------	--

さう丹きのき

是又下軍の女中、
 此はかり進上るはれ
 ひとさきひの流例や
 一ノ條の申小ひは
 かねのち法也

いぬのふら堂の名書
 付孔捕政殿 関白殿 一條殿
 二條殿 鷹司殿 中家門也
 清花より付孔禱也
 きん條大相國の内國書は
 三ノ條大寺を北く山院大納言
 六の内大臣 大の心を准大臣
 御川中かえ 中ねんを
 右は林養儀 幼者も在る
 右之通と流に名書付
 らり也 申小付孔とあり心
 次第やと見え

女房流へ自合官名を流の書

官途之分

大けき	女けき	中 <small>ちゆう</small> の <small>な</small> 女 <small>によ</small> けき	大かひき
大けむ物	大きけり	は書けり	くらのけり
ぬいのけり	たぐいのけり	志き方 <small>た</small> けり	大がけり
治 <small>し</small> た <small>た</small> ふ <small>ふ</small>	うたのけり	言 <small>こと</small> のけり	氏 <small>うぢ</small> ふ <small>ふ</small> の <small>た</small> けり
かすのけり	あがのけり	まふ <small>ま</small> の <small>た</small> けり	ま <small>ま</small> いと <small>と</small> の <small>けり</small>
刑 <small>けい</small> ふ <small>ふ</small> た <small>た</small> ふ <small>ふ</small>	松 <small>まつ</small> の <small>た</small> けり	城 <small>しろ</small> の <small>た</small> けり	く <small>く</small> の <small>た</small> けり <small>大</small> 補 <small>ほ</small>
大せんの <small>た</small> けり	むくのけり	おけりのけり	これのけり
てむのけり	かむのけり	か <small>か</small> の <small>た</small> けり	み <small>み</small> の <small>た</small> けり
う <small>う</small> の <small>た</small> けり	む <small>む</small> の <small>た</small> けり	た <small>た</small> の <small>た</small> けり	右 <small>みぎ</small> の <small>た</small> けり
ま <small>ま</small> の <small>た</small> けり	い <small>い</small> の <small>た</small> けり	志 <small>し</small> の <small>た</small> けり	志 <small>し</small> の <small>た</small> けり
か <small>か</small> の <small>た</small> けり	た <small>た</small> の <small>た</small> けり	右 <small>みぎ</small> の <small>た</small> けり	右 <small>みぎ</small> の <small>た</small> けり
ま <small>ま</small> の <small>た</small> けり	た <small>た</small> の <small>た</small> けり	ゆ <small>ゆ</small> の <small>た</small> けり	先 <small>まへ</small> の <small>た</small> けり
東 <small>あづま</small> の <small>た</small> けり	西 <small>にし</small> の <small>た</small> けり	書 <small>かき</small> の <small>た</small> けり	書 <small>かき</small> の <small>た</small> けり

いぢのふら堂の名書
 付孔捕政殿 関白殿 一條殿
 二條殿 鷹司殿 中家門也
 清花より付孔禱也
 きん條大相國の内國書は
 三ノ條大寺を北く山院大納言
 六の内大臣 大の心を准大臣
 御川中かえ 中ねんを
 右は林養儀 幼者も在る
 右之通と流に名書付
 らり也 申小付孔とあり心
 次第やと見え

受領之事

山あつはき	やぬのき	かすはき	いらみのき
川はらこ	伊のき	いせのき	志まほき
むらじき	みらのき	あつたき	すかのき
いり乃き	かひはき	けうこのき	むぎはき
安し乃き	かつさ乃き	志まほき	したら乃か
あふ乃き	こは乃き	ひら乃き	志まほき
かひ乃き	志といはき	むい乃き	むら乃き
わふ乃き	むらせん乃き	か乃き	たふ乃き
紙あはき	名ちこのき	わ乃き	くまき
たんふはき	たははき	いふはき	はあはのき
いひ乃き	いそ乃き	かき乃き	たふ乃き
みま乃き	後せん乃き	後あ乃き	後た乃き
あき乃き	すわ乃き	むら乃き	まはき
あはれき	いし乃き	さぬき乃き	いよ乃き
やわ乃き	ちくせん乃き	ちくたき	ぬせん乃き
きこ乃き	肥せん乃き	いころき	ぶかのき
松す乃き	ゆい乃き	いさき	はら乃き

如世書時ハ凡法ガ一重ノ一カガキト改革

以下堅目六

大高檀紙堅一重洞々

公儀ハ敵ノ起ヤ

進上

御帷子御單物 五之内

進上

御帷單物三

御紋尉斗目御腰明
御紋綸子爵金
御紋浅黄
御紋薄枳
白
以上

以上
称号官
名乗
わふししん若

松平安藝守
吉長

進上

御小袖

四

内

御紋付熨斗目花色御裏茶色

御紋付綸子殿茶御裏紅

御紋付亀綾黒茶御裏淺黄

白

以上

稻葉丹後守

正則

進上

御小袖 一重

以上

称号官

名乗

是又

公儀は歎此
太高權儀一重
物目数不定
他はより大
染七折は
一虎あまりせ
ひさしは
也

進上

御小袖 一重

以上

称号官
名乗

進上

御盃臺

松鶴

鯛

一折

御樽

一荷

以上

名字官
名乗

進上

鱸

一折

以上

松平元十代

任官以前より
樂ふてまわす

河盆の基此

作物をまや

式竹・飛成

若く鶴木也

有る也

其を二ハ竹

扎をすらん

録録

進上 松下佐渡守

すき(柱)り切

前のす(り)る

先ハ御盃を

献せりりし付て

此を指をす

るや

あんど

もくろ

たい

ぬり

さけ

ふか

はたろ

一

一おり

一おり

又

一おり

十

一

まそひころ

たふ勝

主人の心中
かたじけなく
おまへ様
は趣をいそ
らふ也

男子より
祖母母
皇居内親王
卯日号

名系のほく
父字をうり
母字をうり
りや

新編入法候よりあはれ候はんまをらりふ

もくろ

たい

たら

さけ

ふか

はたろ

一

一おり

一おり

又

一おり

十

一

うの杖川はる

中下は中一

かたじけなく

四巻かたり

おまへ様

らりや

たい 一おり

たら 一おり

さけ 又

はたろ 十

ふか 一

はたろ 十

男子自六三既

座右掛

日派

鷹 一

はたろ 十

まろ 十

水多呂

代水多呂

一荷

水多呂

一荷りて...
かき時...
代水多呂...
小書...
此代水多呂...
あり...
りて...
やうに...
指代...
小袖代...
書面...
こく...
う...
先師...
やう...
可敬也

女房

てくてう

一

水ひ

一か

ゆき

一木

あつ

子

やま

一か

水多呂

十

水

女中...
男...
...
大...
...
内...
...
好...
...
た...
...

注文

進上

一段子

一唐布

一大口

一唐筵

一丁子

以上

喜連川金王丸

友人ハ名字友
卷餘書一
入進上ハ各書
除ク行草書
中筆下等也

塩鴨

二

松平備後守

一色ハ進上
カニ付
ハ寸光符也
行字ハ書也
各書勿論不
書一也
下筆ハ
草書ハ

輻

一折

二又より上
を二書也
落髪以後也
ゆはや

沙指

代三夏

一荷

不苦市分れ
とも四種あり
ゆはや

望

松平閑翁

目六
輻 一折
鯉 貴
綱 一折
沙指 一荷

以上
松平閑翁
かき書余すも
又書也

者三種 指二をを思て二種一あり書は彼也 然也 且目六り
曾て世之やり者二種一指一あり四行小書よりありゆはや有之
案林君御目六 南整 案小し有之

連名目六

是ハ小者の人ト合をし師通りの人
進上乃時や

進上

文御看

一折

君父師ハ
真文字にて
進上名案
一有之也

御樽

代三百匹

一荷

併官人令師
浪人陪也
あり是共
人々の簡
一有

以上

松田市太郎頼秀
小林平次郎友吉
平野東二郎一之
山田藤四郎益長
久野平五郎有友

御文看とい
不いふ之
↑

和音ハ此
リ也

文出書

一折

沙指

代官是

一折

己之

松田市太郎

小林平次郎

平野東三郎

山田友四郎

久野平五郎

吉田六平

連名すて書

川うらみ皆

思く書一

書家之目錄

進上

推茸

一折

御折

十合

以上

凌雲院大僧正

實觀

進上と名を除

く凌雲院大僧正

と乃と書て中

下へて送る一

丹波乃僧ハ

禅林寺元免

妙法寺日徳

女中へハかか

交へて書

志人上

志の茸 一折

五折 十合

以上

凌雲院大僧正

志人觀

不先ノ項す

カハ

進上

秋原紙

十帖

純子

二卷

以上

本園寺權僧正

日解

見より、此類
了也

善法寺内
菊丸

同宿之僧ハ

本園寺内
玄順

偈食尊也

北之ん兜同也

母官之任職也、宗、旨、いりて、法、下、法、眼、の、橋、
阿闍梨、ホ、ハ、妙、蓮、寺、法、下、ハ、妙、蓮、寺、阿闍梨、ハ、

此一書也

進上

干瓢

一折

枝枿

一箱

以上

妙蓮寺

玄雲

進上

檀紙

十帖

蜜柑

一籠

以上

建仁寺大和尚
周徳

僧十人俗ヲ見下ニ何事モ存書来リ可奉申理ナリ方一書
法を即ち僧ニアテ其時ニ出可教也

得宗此也
長老(大和尚)
和向 西堂
東堂 首座
藏主 汝亦
小有之

系徳寺西堂
系愛寺首座

此可有之

右何歳学カリ
ナリ七古ノ法位
ト云々也

公方棟云帖ノ
充而修ノ也

天倫和向
因經首座

同宿之中何と蔵
カクノ一寺
任蔵ニ皆首座也

出ハ多分西堂ニ
十割首座也

進上

酒井故雅樂頭名乘遺物

御刀

一腰
三原
代金

以上

酒井雅樂頭

名乘

代ノ同名ノ人々
也故ノ字モ不
マ友以人ト月
山村甚立衛
良景

以上

かくの
其名の人故也

酒井石見寺遺物

進上

以上

酒井大學頭
名乘

右進上名乘以除ノ行字草字ニ中下輩ニ

水戸中分より唐紙物

あんと

續志生巻

全三三三

い

水々ちりあやう

女川園

は越して浦宿人
あんと名案を
除く行書草虫
小て中華小書
巻し

是ハ
御書採魚乃
おしりや

家系代採御渡り時献上
堅目六料紙檀紙一重

進上

御刀

一文字
來國光

一腰

御脇指

一腰

御産衣

三重

昆布

一折

干鯛

一折

熨斗鮑

一折

御樽

一荷

以上

称号宦

名案

別紙堅目六

一文宇代金手杖
國光代金手杖

此御時

公方採(浦取
より)

進上

干鯛

一折

昆布

一折

御樽

一荷

以上

称号宦
名案

右堅目六

同御書様へ

あん上

御書一

二十ひき

御書二

二丁也

御書三

一巻

三

いし川あもれ

た長

あん上

御書一丁也

御代書

三

つづき

書

多分がけ

御代書

いし川あもれ

同御書様へ御代書一付あり

料紙大奉書

堅目六一重

上福元下二

紙をい

わく

書

白子

紙

白加祢

五枚

手付書

松久大せんのおま

白子紙
紙をい
わく
書
料紙大奉書
堅目六一重
上福元下二
紙をい
わく
書
白子紙
紙

進上

御肴

三種

御樽

二荷

以上

宣永三九月七日

大御所様御封之
御説儀

公方様へ此

者三種書分

時ハ四行ハ成

少右之通書

御書九リ

此後思公身也

望目六

進上
御弓一張并御袋

以上

松平肥前守

利常

御弓二張献上

二張ト云々御弓

室町殿へ三張献上

十張献上

進上

菖蒲御境

一飾

以上

松下東市正

友忠

或

進上

轡たづね 一楯

御少うけ 一具

鯛 一折

以上

松下西市正

友之

之方へ此御境

ゆけふ小書

古實也真字

ふを可い安女ま難

南部符袋

進上

在所の方粉

以上

南部大膳大夫

利幹

此書也

進上

破魔御弓

一飾

鯛

一折

以上

三倉大監物

祥久

御称号不詳時

加冠

蒲生菊松磨

圓為

松平左郎五良

慶長七年八月九日御草名

古代御草紙
不詳古草
名りかり

加冠

苗代九

宜為正置下九衛積加賀

兼應正置下九衛積加賀

苗代打紙

之

忠

慶長九年九月廿五日御書

松平武藏守

池田重文

可任松平武藏守

兼應正置下九衛積加賀

同日

成

御波實印後書

可為 松平

奉旨教文

月日御請御草名

當世ハ此ノ
御称号系来叶乃恐
此也

同紙ノ七ノ

御一字

御称号 女吉也

忠

奉旨教文

月日御請御草名

一
五

一字 右折なり真中へ返り松多後

平人一字生ひ時也也

室町御時代に貴人仕也る

前髪と折角為帽子親より

法事也其時に因縁以上の

人ハ名条乃文字ハ華ハハ

母子をくも也長ハ母子也

年号ハ中堅紙ハ川と書ハ

是ハ折紙なれども如少シ也

又官人ハハハハハハハハハ

年号ハ論也折紙時也

寛元

十月一日大和源長安殿

姓ハ略シテ下字ハハハハハ

略シテ草名ハハハハハハハ

年ハハ

平貞時高時一族ハ父子ハ

送ハ秋大佛深真守貞直金澤

武藏守貞學華ハ尤迦将監

時益十ノ也

寛元元年十月一日源長安殿

簡松大后殿

右一字贈時右ハ時代ハ二紙ハ礼等
小ハ書状ハ源也

一字ハ後家御ハ時對也

代ハ用束惟長ハ字進

之ハ於此任用云々示ハ

忠信源也

十一月一日大和源長安

進上簡松大后殿

文章表書高ハハハハ

進上簡松大后殿大和源長安

高ハ
松田

改名 上包折りて真中(毛利右衛門)

毛利忠三郎

是は平人忠三郎と云ふて
お髪分と云り男に成る
時より此人の親より
かき書てなぐり書法也
一称一申一おおく
詞一考し可書也
又堅紙のし

可称 右通

内藤右衛門

可也 太希左衛門

寛政元年十月廿六日

平人姓名条後

上包

内藤右衛門

寛文支 庚寅年
三月十日寅刻

堅紙下儀也

御書

宜泰称 菊松若

年号年月日姓名条 奉
上

以は題子支あり

主人若子出生時家老か

より書法也

是も堅紙のり也

奉上下字ハウケタハリテ多クハ
ハシヤ

其親より云ハ

書

宜為 菊松

年号年月日

月日草名

又同筆字ハ依書贈所ハ

書

一申 菊松

年号年月日

月日姓名草名

折紙封年号分ハ一と全折

堅紙封年号ハ小書ハ一と全折

ハ一と全折ハ一と全折ハ一と全折

障子ハ一と全折ハ一と全折ハ一と全折

姓を書包ハ一と全折

此紙年儀也

御奉拜

可奉称

在久君

同以

主人の女子(お孫)老か
より申す時此申也(お
前より以)

主極了敬りハ

可奉称

平出也

菊堂君

可奉称

同

在久君

何君より申す事大儀也
り(かき(お)事(下)共
人(主人)を以て(君を
書(る)る(り)す

官ノ願ノ折紙也

申
在奈太史

細川氏家補

高國

是ハ細川氏家補高國
ノ(氏)部家補を言
在奈太史(以)て(君)を
先代ハ

公方家(中)上(右)法也
將軍(沙)水(知)り(人)
林(表)作(入)り(之)後(元
より)出(る)る(事)也(家)ハ
申(す) 奏(聞) (折)紙(也)

申 權中納言

持明院家儀

在奈

此折紙(以)て(林)表(ハ
由)り(之)事(也)

是ハ伊勢七郎貞忠
 子宿小出左庫母を
 室町殿へ移し
 時乃由也主時ハ由
 書山也

申 兵庫助

伊勢

貞忠

是ハ伊勢七郎貞忠ト云フ也

納幣目ハ引合ハキ子堅紙を文ハ分見
 古巻一冊も傳分ハ水碓徒ト指録

とく

たい 一札

すきいろ 十本

竹あふ 一冊

赤筒先 一冊

昆虫 一冊

うち枝 一冊

たひ 二冊

小うて 二冊

水安 二冊

コト

田中右京氏

嫁礼ハ方勝陸教ハ共ハシメテ貞忠ハ納幣目也

納幣目ハ引合ハキ子堅紙を文ハ分見
 古巻一冊も傳分ハ水碓徒ト指録
 折紙ハ書之巻法
 也既堅紙ハ指
 分ハも指目ハ
 いハ堅紙志ハ
 かり是ハ折紙
 半書ハ紙書古
 實トシテ
 奉ハ親
 上ハ納幣目ハ
 未ハあり人ハ
 ト書ハハハハ
 二冊ト云ハハ
 母ハ元ハハハ
 奉ハ親
 昆虫ハハハハ
 ハハハハ
 田中右京氏ハ
 是ハハハハハ
 是ハハハハハ
 是ハハハハハ
 是ハハハハハ
 是ハハハハハ
 是ハハハハハ
 是ハハハハハ
 是ハハハハハ

以上 己上 古来より混乱して書来り
 式折紙ハ以上堅目ハ己上式以上ハモツテ
 アクルト云心カク貴人ノ中ハ石ノ書カク
 悪況あり也己上ハ上より是述し己ハ混
 己上書也既己上二人己上十人書あり也
 入外龍康富古實以人也皆己上カケル
 以ハ候し書ハ以ハ心字ハ己カケル
 ありハ僻事也 卷里切目と同也
畢也増句終辞也
 是述し心也なり己ノ字宜也主し
 一也乃書己上以上心とに不書之但進兵
 書時ハ心カク書カケル釣合せし書
 一カケル己上以上カク書来れ也
 凡ハ心カク書外際限あり也
 只是今太方折紙具ハ注文折紙等乃

先別紙堅紙折紙ホノ混乱カケル
 心カク又宿人カク僧尼兒カ房ホノ
 書法紙カク集り也カク就味
 心カク誤り也カク先カケル

寛政二年三月十日
 御馬 正
 己上
 中書
 是ハ心カケル也

進上
 御太刀一腰
 御馬 正
 己上
 祿号カケル
 中書
 是ハ心カケル也

此ハ心カケル也
 中書
 是ハ心カケル也
 御馬 正
 己上
 祿号カケル
 中書
 是ハ心カケル也

阿波守成近來曾承流書法
之如用山村目深流子如亮書
古之也服年流

道之也流子如亮
禁裏上全統之日古也流子如亮
之如流子如亮之也流子如亮
之如流子如亮之也流子如亮

三月

西尾源高

一筆改爲古也流子如亮
之如流子如亮之也流子如亮
之如流子如亮之也流子如亮
之如流子如亮之也流子如亮
之如流子如亮之也流子如亮

禁裏上全統之日古也流子如亮
之如流子如亮之也流子如亮
之如流子如亮之也流子如亮
之如流子如亮之也流子如亮
之如流子如亮之也流子如亮

古之也流子如亮
之如流子如亮之也流子如亮
之如流子如亮之也流子如亮
之如流子如亮之也流子如亮
之如流子如亮之也流子如亮

一向無事時方より一々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

御事向々御事

一或人聖堂（目錄の書法）

卷は聖賢の道に教へる
大先生が竹分教の書
なれども 日中乃神本
の書ありしなり 教業中
の書あり

獻備

雄劔 一柄

龍馬 一蹄

整

羽林次料
名乗

凡日本も唐名紙書ハハ常
書事勿と唐の人の唐音り
し物い唐名を書ハ紙ハ
正世武行言も不見せされ
遺す考一ハハ可有や
杜撰ハ書ハハ

山城守ハ 城州刺史

大和守 和州刺史

上總常陸上野又等ハ

總州別駕 上州別駕等ハ

可書之

京官中務大輔ハ

中書大卿ハ

父尹祥祖父乃命によりて若年
の初を入木道執ハハ
武家書礼古實城字ハ
尚祐ハハ存ハハ事ハ
カハ先尚祐ハハ久保正之
子正永二代の誤り甚多
尚祐乃ハ入木庫頭平朝ハ
室所執ハ古實者ハ
二階堂の説ハハ
尚祐慶長五年ハ
仰ハ白前代ハ方家ハ書礼古實
御尚家にハ用ハハ上玄の

事、彼家の家譜に明白なり
今御判物系本略の出来室町殿
の法式は柳もたよりなり
之のれを書状に附付各葉の
少狭よりくの目六ホ久保
二代此誤り甚だ不く道法
壯道ちと誤りなまを以て
旧記以考へ公を改むる為
教冊は目六集も予申也因好
所土は是に考へて公の
いぬ

源公風

紙上屋氣被書

神宮之部

宮^御社屋代穴宮八尋殿八重垣宮
一柱騰宮神明造内官外官一間社^{向造}流造首
二間、三間五間、本社幣殿石間拜
殿三社造春日造鎮守造王子造二階
拜殿神樂殿神樂之公造叢祠神
庫保久良大元宮神廐

鳥居之部

鳥居雞栖神明鳥居合掌鳥居柳
鳥居鳥居輪智鳥居四足、夜光、野鳥、

カニセウ、萃表^{萃表者一柱也以社柱鳥居}
作萃表者湯平

佛殿之部

佛殿佛閣雨打佛殿素佛殿本堂中、
令、法、清、僧、容殿回廊食堂